

ハンセン病に関する

人権啓発

パネル展



～人権週間を機に考える～

平成 8(1996)年に、ハンセン病回復者を全国の各療養所に隔離してきた「らい予防法」が廃止されてから、22 年になります。

平成 15 (2003) 年 11 月に熊本県内の宿泊施設において、ハンセン病療養所の入所者が宿泊を拒否されるという事件が発生し、さらに、この事件の報道をきっかけに、ハンセン病療養所及び入所者に対して非難、誹謗中傷する手紙等が多数送りつけられるなどの二次被害が発生しました。このようなハンセン病に関する誤った知識や偏見等により、日常生活で差別が行われるようなことがあってはいけません。

ハンセン病患者・回復者等に対する偏見・差別の解消を目指し、ハンセン病を正しく理解し、人権について考えるきっかけにさせていただくためパネル展を開催します。

<同時開催> 5日(水)の催し予定

「大正大学成道会」 テーマ：Harmony～祈りの輪

- 午前 11時20分～ お練り
- 午前 11時30分～
法衣・法具など各種展示、腕輪念珠づくり体験、
食事おふるまい(乳粥、大根炊き)
- 午後 12時20分～
成道会法要(四宗派合同護摩法要)

「天台宗人権啓発公開講座2018」

講師：石山 春平 氏
(ハンセン病回復者
・川崎市身体障害者協会理事)
午後 2時～ 7号館3階 731教室

日時

2018年 12月3日(月)～7日(金)

9:00～17:00

場所

大正大学3号館1F

お問い合わせ先

浄土宗 人権同和室 人権パネル展事務局

TEL

075-525-0484

E-mail

jinken@jodo.or.jp

共催：天台宗・真言宗豊山派・真言宗智山派・浄土宗／後援：大正大学
資料提供：真宗大谷派・天台宗・東京人権ライブラリ

